



議会だより

せとうち

2025

2.1

第81号



議案審議	2～6
人事案件	6
決算認定	6
一般質問	7～15
視察報告	15

瀬戸内市の特産物である牡蠣の水揚げと牡蠣剥き作業

約7億9千800万円

第2宮下産業団地売却

事業用地としてアイリスオーヤマ(株)へ土地を売却するための議案が提出され、可決した。

問 補正予算で財産収入が約1億3千万円増額の理由は。

答 売り払いの土地が6万㎡で、1㎡あたり1万1千円の単価で試算していたが、実際に鑑定してみると、1㎡あたり1万3千300円という単価が出たので増額となり、約8億円の売却収入が得られる。

当初予算に6億6千万円を計上していたが、その差額が今回の計上分となった。

問 開発区域が7万2千㎡あり、そのうち6万㎡を売り払うが、草刈り等維持管理はどのようにするのか。

答 約6万㎡に関しては全て企業の責任において管理し、残り1万2千㎡は、市道、調整池、緑地の部分があるため、それぞれの課において維持管理をしていく。

アイリスオーヤマ(株)
「岡山瀬戸内工場」概要

- 総投資額 約200億円
- 生産品目 (予定) パックごはん
- 新規雇用人数 (予定) 約160名
- 自動倉庫 約3万8千パレット
- 竣工時期 (予定)
 - 第1期 令和8年中 (物流棟)
 - 第2期 令和10年中 (パックごはん製造棟)
 - 第3期 令和11年中 (自動倉庫)



造成が終わった第2宮下産業団地

これまでの事業費の流れ		
令和2年度	調査・測量	約2千万円
令和3年度	詳細設計	約5千400万円
令和4年度	造成工事	約5億円
令和5年度	造成工事	約3億円
令和6年度	造成工事	約5千万円

これまでの流れ	
令和2年1月	地元説明会
令和3年	地元説明会・地元協議・地権者説明会
令和3年3月	農産法実施計画に基づき産業導入地区に指定
令和3年4月	アイリスオーヤマ(株)立地意向表明書提出
令和3年5月	覚書締結式
令和3年11月	農業振興地域解除
令和4年3月	開発許可、農地転用許可
令和6年11月	立地協定及び包括連携協定締結式

新火葬場 運用開始

令和7年4月から

令和2年に整備を始めた瀬戸内市新火葬場が、令和7年4月から運用開始となる。その火葬場指定管理料約1億9千200万円が計上され、可決した。

問 積算根拠は。

答 5年間の契約期間で、年間約4千万円である。その内訳は、

- ・人件費 約2千300万円
 - ・清掃業務等 外部委託費 1千万円
 - ・通信費等 諸経費 150万円
 - ・(火葬炉の管理、電気の補修等)
 - ・消耗品や小規模な修繕 350万円
- である。

問 指定管理者の選定方法は。

答 過去5年以内に同様の業務実績があることを応募資格とし、選考委員会で選定した。

問 指定管理者は。

答 富山県にある(株)五輪と広島県にある(株)合人社計画研究所のグループである。

新火葬場整備事業の経緯	
平成28年7月	瀬戸内市から岡山市へ新火葬場整備について連携協議申し入れ
平成28年11月	岡山市から瀬戸内市へ協議を進める旨の回答
平成29年2月	新火葬場整備基本計画策定 (必要火葬炉数を4炉とし、施設の構成等について計画を定めた)
平成30年3月	新火葬場の進入路設置工事、敷地造成工事の詳細設計を実施
令和元年12月	用地買収完了
令和2年8月	瀬戸内市・岡山市両市長により、新火葬場の広域連携に関する確認書締結 (新火葬場整備を広域連携を進めるための事業計画及び事業手法について両市で確認を行った)
令和2年9月	瀬戸内市・岡山市両市長により、火葬に係る事務の委託に関する協定書締結 (市民の使用条件、両市の費用負担割合、整備費の上限額等を決定した)
令和2年12月	新火葬場の進入路設置工事及び造成工事着手
令和4年6月	新火葬場設計建設工事に着手 (設計から建設までを一括発注方式 (デザインビルド) で実施)
令和5年3月	新火葬場建築の基本設計が完了
令和5年12月	新火葬場建築の詳細設計が完了
令和6年1月	新火葬場建築工事に着手 (令和6年12月現在工事中)
令和6年3月	新火葬場の進入路設置工事、敷地造成工事が完了
令和7年3月	新火葬場建築工事が完了予定



完成真近な新火葬場 (2024年12月ドローン撮影)

学校給食アレルギー対応に

約2千500万円

かねてより要望のあった給食の食物アレルギー対応に、令和7年度から対応するための予算が計上され、可決した。

問 予算の内訳は。

答 邑久・牛窓学校給食調理場は4年分、長船学校給食調理場は4カ月分の食物アレルギー対応に伴う追加予算である。対象人数は、邑久・牛窓が30人、長船が2人である。

問 アレルギーの対応方法は。

答 卵や乳などを最後に入れる前に取り除く方法で、除去食として代替食には対応しない。

問 保護者や子どもとのコミュニケーションはどのようにするのか。

答 面談を行い、アレルギーの程度を把握し、その上で申請をしてい

ただ。また、詳細献立を保護者の方に配り、除去食の対応をしていく。

問 配膳の容器はどのようにするのか。

答 学校とも協議していくが、通常食の子どもとは別の個別容器での提供を考えている。担任へも、除去食であることが分かるようにしたい。

問 人員の増員は。

答 邑久・牛窓学校給食調理場で、調理員2名、配送員2名、アレルギー対応責任者1名の5名を増員する。長船学校給食調理場で、調理員1名を増員する。



邑久町漁協の荷捌き施設の建替補助に

約2億円

邑久町漁協の荷捌き施設建替えへの補助金の予算が計上され、可決した。

問 詳細は。

答 冷蔵施設を整備し、カキの出荷を伸ばしていく目的で、邑久町漁協が新たに荷捌き施設を建設していく。建築面積は約550㎡の施設を予定している。

令和7年度末までには完成する予定と聞いている。

問 事業費は。

答 総事業費が約2億8千万円で、国の補助が2分の1、県の補助が10分の1、市の補助が10分の1、邑久町漁協の負担分が約8千500万円である。



荷捌き場建設予定地

中央公民館防災減災 改修工事に

3億3千万円

中央公民館改修工事の契約締結議案が提出され、可決した。

問 改修の詳細は。

答 邑久地域の早期避難所としての機能強化を目指し、改修する。

- ・トイレの洋式化・乾式化
- ・ホワイエ等の段差解消
- ・非常用電源の設置
- ・大ホール天井の落下防止柵とLED照明の設置
- ・防災倉庫の新設、等である。

問 工事期間中の利用は。

答 1期は、旧保健センター、2期は、本体2階のホール等に分けて工事を行うため、それぞれ利用制限はあるが閉館はない。



中央公民館

ゼロカーボン推進事業

約1億5千800万円減額

昨年2月に市が出資して設立した「瀬戸内市民電力会社」が環境省の交付金を活用して実施している※脱炭素先行地域づくり事業で、減額予算が計上され、可決した。

問 なぜ減額となったのか。

答 今年度は当初の想定ほど進めることができなくなり、それに合わせて減額となった。

問 事業自体が進んでいないのか。

答 最初は11施設に太陽光発電施設の整備を計画していたが、施設の詳細を調べるなどに時間がかかり、実際にできるのは3施設となったためである。

※脱炭素先行地域づくり事業とは。
公共施設等に太陽光発電設備や蓄電池を設置し、市が再生エネルギーを使用する。



太陽光パネルが設置されるクリーンセンターかもめ

問 整備される3施設はどこか。

答 クリーンセンターかもめ、長船衛生センター及び玉津コミュニティセンターである。

問 来年度以降の事業はどのように進めるのか。

答 どの公共施設に設置するのが効率的か優先順位を練り直して、できる限り多くの施設に設置したいと考えている。

問 今回の減額で2040年までの二酸化炭素排出ゼロ目標を達成できるのか。

答 市の目標は変更ない。

一般質問

- 廣田 均**（7ページ）

 1. 中期財政計画について
 2. 103万円の壁問題について
 3. 前島架橋について
- 竹原 幹**（8ページ）

 1. 農業政策について
 2. ゆめトピアや長船支所等の土地の整備と管理について
 3. 都市計画マスタープラン（案）について
- 平原順二**（8ページ）

 1. 次期市長選挙への出馬意向について
 2. 南北道の道路整備と吉井川への橋の整備について
- 河本裕志**（9ページ）

 1. 教育行政について
 2. 安心安全のまちづくりについて
 3. 蛍光ランプについて
- 木下公文**（9ページ）

 1. 鹿忍低地帯地域の浸水対策について
 2. 市道、県道の整備について
 3. 牛窓西幼稚園について
 4. 旧岡山県水産試験場の活用について
- 鳥原 舞**（10ページ）

 1. 人と猫が幸せに暮らせるまちづくりについて
 2. 鳥獣被害対策について
- 石原芳高**（10ページ）

 1. 教育長の所信を問う
 2. 令和7年度の予算編成について
 3. 市長の政治姿勢を問う
- 原野健一**（11ページ）

 1. 鳥獣被害対策について
 2. 学校指導形態について
- 厚東晃央**（11ページ）

 1. 公共交通の充実について
 2. 呂久自然教育の森キャンプ場の充実について
 3. 地域ビジネス支援センターについて
- 小野田 光**（12ページ）

 1. 周辺部の過疎対策について
 2. ブルーライン、県道の整備について
 3. 道の駅について
 4. 防犯対策について
 5. コミュニティ施設の建て替えについて
- 島津幸枝**（12ページ）

 1. 子どもが安全に安心して過ごせる瀬戸内市を
 2. マイナ保険証問題について
 3. 高齢者の聞こえる権利の保障を
- 秦井誠司**（13ページ）

 1. 救急車の適時・適切な利用について
 2. 選挙の投票率について
 3. 学校園とPTAの関係性について
- 日下俊子**（13ページ）

 1. ごみ行政について
- 岩田恵一**（14ページ）

 1. 公共交通について
 2. 給食費について
- 川勝浩子**（14ページ）

 1. 困難を抱えた方が生活しやすくなるために
 2. 障がい児支援について
 3. 災害時のドローンの使用について
- 成本 崇**（15ページ）

 1. 地域ビジネス支援センターについて

写真：牛窓オリーブ園から望む初日の出



廣田 均

問 103万円の壁撤廃による市の減収は

答 国で審議中で減収分は混沌としている



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 103万円の壁が引き上げられた場合、国・地方合わせて7兆8兆円程度の減収となると言われていたが本市の減収は。

市 長 数億円の影響があり、国で審議中で減収分は混沌としている。

問 前島に生まれ、農業、漁業をしていた知人は、病氣療養中で、夜半に具合が悪くなり、市外に住む娘に電話をしたが、明日の一番のフェリーで行くと電話を切った。翌日娘が着くと亡くなっていた。橋があったならということであった。今後の道路計画の中でどのように位置づけるのか。

難波副市長 県離島振興計画の中で国の動向や他団体の事例などを参考に検討していく。



架橋が望まれる前島

問 中期財政計画が示されたが、市債の抑制策、償還方法の見直し、基金繰替運用をどのようにするのか。

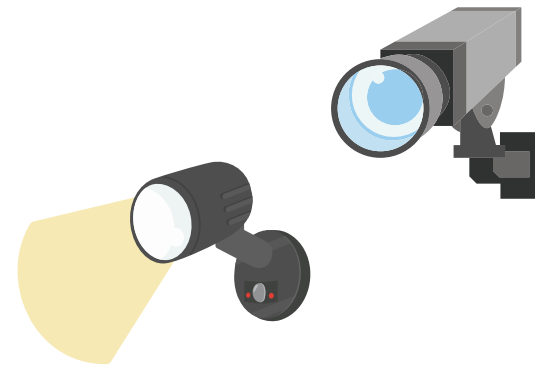
市 長 市債残高などを抑制するため交付税措置のある有利な市債を活用しながら外部資金を確保している。

令和2年度から5年度までに、22億7千958万円余りの市債の繰上償還を行っている。

基金条例には基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用できる規定があり一般会計からの低い負担で対応している。

11月定例会

不審者対策・性被害防止対策に 約50万円



保育所やこども園、放課後児童クラブ等で不審者対策及び、性被害等対策を図るため、1園1クラブ当たり上限10万円を補助する予算が計上され、可決した。

問 具体的には。

答 パーテーションや簡易扉、カメラ、人感センサーライト等の設備購入や更新に係る費用を補助する。

- 監査委員に**
小野和倫氏
を選任することに同意
（任期は令和6年12月25日
～令和10年12月24日）
- 教育委員会委員に**
床 裕子氏
を任命することに同意
（任期は令和6年12月25日
～令和10年12月24日）
- 選挙管理委員に**
小林康志氏
熊谷和女氏
日下英男氏
福池敏和氏
選挙管理委員補充員に
土井和子氏
石黒 悟氏
青山 始正氏
山下卓男氏
が議長の指名推薦により
選挙され当選
（任期は、令和6年12月25
日～令和10年12月24日）

令和5年度の一般会計・特別会計を審査し、全ての決算を認定した。企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定については、賛成多数で認定した。

＜反対討論＞
第2宮下産業団地の造成は、3期工事までとされていた。それが令和4年10月に突如4期工事が始まり、備前市に約8千㎡の土砂を、約4千200万円をかけて搬出した。当該団地売却後の誘致企業の利用目的に合わせた土地形状とすべく、工事変更を行った結果だと説明があった。

当初計画どおりに進んでいた事業において、なぜこのようなことが生じたのか、明確な説明がなされなかった。市の造成事業が報告のないまま進められ、決算委員会でも答弁できないを連発するような事業を、認定することはできない。

令和6年第5回（11月）定例会 賛否の公表

議案名		議決年月日	採決結果	かなえの会		日本共産党 瀬戸内市議団		公明党 瀬戸内市議団		創流 クラブ		瀬戸内市民の会				新風				賛 成	反 対		
				秦井 誠司	成本 崇	眞原 舞	厚東 晃央	島津 幸枝	河本 裕志	川勝 浩子	竹原 幹	日下 俊子	小野田 光	原野 健一	平原 順二	木下 公文	廣田 均	小谷 和志	石原 芳高			岩田 恵一	
認定 第7号	令和5年度瀬戸内市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	R6.11.26	原案可決	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	一	○	○	12	3

○＝賛成 ●＝反対 退＝退席 欠＝欠席 ―＝議長職（議長は採決に加わりません）

※他の議案については、全員賛成



竹原 幹

問 都市計画マスタープランは後退したか

答 駅前等整備をまちづくりに位置付ける



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 現在、都市計画審議会で審議中のマスタープラン（案）には、長船駅について、駅舎や東西自由通路、駐車場の整備、観光発信機能の充実、バリアフリー化等交通結節機能の強化を図るとある。しかし、これは平成28年度に策定されたJＲ駅前等整備計画の中・長期構想では、平成32年度以降には事業化と明記している。これからの都市計画プランに載せるということは後退したということか。

総合政策部長

都市計画の導入を機に、駅前等の整備を市全体のまちづくりに位置付けていきたい。

問 後継者がいない零細農家にとっては、機械の買い替えが難しいなど、大規模農家に任せるしかないという現実がある。このような流れに農業行政は追いついていないか。



市民要望の高いエレベーター設置を

いのではないか。大型機械に対応した市道、農道、用排水路の整備が急務である。地元の見解を聞き進めていく。

産業建設部参与

問 ゆめトピアや長船支所等がある土地の管理はどこの部署か。

教育次長

長船支所前の駐車場以外の共用部分は長船町公民館が管理を行うこととしている。

平原 順二

問 次期市長選挙への出馬意向について

答 次期市長選挙には出馬しない



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



問 4期目の市長の任期は7月18日までとなっているが、5期目の出馬を考えているのか。

市長

任期満了に伴う次期市長選挙には出馬しないことを決意した。

新たなリーダーの下、新しい考えで市役所の改革を推進し、職員一丸となって瀬戸内市発展のために取り組んでもらいたい。

問 後継者の問題はどうか。

市長

今後検討していく。

問 市長自身は今後、どういった方向に進んでいくかと考えているのか。

市長

他の選挙に出馬をするとか、明確な目的があつて不出馬を表明したわけではない。



岡山ブルーラインに直結させたい市道南北線

ではない。次の方々にバトンをしっかり引き継いでもらいたいと考えている。

問 市道南北線と橋の整備が必要だが、本気で考えているのか。

三浦副市長

今後、ますます重要な路線になる。ブルーラインに直結できればアクセスの向上ができるので、接続場所、費用の検証を考えている。

河本 裕志

問 防犯灯のLED化の推進は

答 補助金の金額を増額して対応する



問 一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入は2027年までに廃止されるが、市の施設のLED照明への切り替えは。環境部長

CO₂排出削減の観点から、国の補助事業を活用し、既存の蛍光灯ランプからLED照明への切り替えを実施している。

問 防犯灯のLED切り替え推進をどうするの。総務部参与

各自治会に対してLED防犯灯の更新のお知らせは、行政委員宛の文書や市のHP、広報紙等を活用して行っている。

問 2027年に向けた防犯灯のLED切り替えの方針は。総務部参与

市では、令和7年度から5年間を自治会等の防

犯灯のLED更新促進期間として取り組む。多くの自治会からの申請に対応できるように、補助金の増額を予定している。防犯灯の球替え修繕は自治会の負担なしで行っている。令和7年度は継続して行うが、令和8年度から蛍光灯球切れ修繕は、自治会で対応いただく予定。

自治会で計画的にLED化を進めてほしい。

せとうちデジタルマップのアクセス方法
左記のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。
https://site-seiouchi-kokai.hub.arcgis.com/



掲載情報一覧
せとうちデジタルマップ掲載情報
(令和6年3月22日現在)

掲載マップ	掲載情報
ハザードマップ	避難所・緊急避難場所洪水・南海トラフ巨大地震・土砂災害・高潮
公共下水道道マップ	公共下水道全体計画区域、供用開始区域、事業計画区域（令和9年度まで）
公共施設マップ	学校、福祉施設（令和3年度時点）、医療機関（令和6年1月1日時点）、公共施設AED設置場所、県指定文化財、観光トイレ、バス停留所
消防栓マップ	消防栓
防犯灯マップ	防犯灯
認定路線網図マップ	路線網図（林道・市道・農道、橋梁、ため池、河川）



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

木下 公文

問 鹿忍低地帯の浸水対策を実施しては

答 引き続き研究していく



問 以前、止水板設置を提案したが、抜本的な解決には至っていない。地元住民との合意形成が図れず、計画を止めていると聞いているが、今と昔では住民の感情も変わってきている。再度、住民説明を行い、計画を進めては。上下水道部長

過去に地元に対して何回も説明を行った。現在住民感情や意識が変わっている可能性もある。合意形成に至るように努力をしていく。

問 牛窓西幼稚園が休園して数年経過した。まちづくり協議会をはじめ、区長や行政委員、地域住民の方で園庭を維持している。ただ、施設は老朽化が進み、いずれ廃墟になることが予想される。早めに策を考え、方向性を示すべきだと考えるが、いかがか。

教育次長

解体するにも改修するにも多額の費用がかかる。できるだけ費用のかからない形で、地域の活性化につながるような公益性の高い活用を考えたい。

問 旧岡山県水産試験場が閉鎖して数年経過する。完全に廃墟になつていて、景観も衛生的にも良くない。今後どうするの。総合政策部長

引き続き所有者の県と協議をしていく。



度々浸水する鹿忍の低地帯



原野 健一

問 急激な少子化から小中一貫校形態を考えては

答 地域から声が上がれば考えていく必要がある



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

平成19年に牛窓地区の小学校を統廃合して新しい小学校を建設してはという話が出たが前に進まなかった。しかし平成19年には、3小学校、合わせて320人ぐらいであ

教育長

賛否両論あると思うが私の耳に良く入ってくるのは、1学級、数人の生徒数では生徒さんがかわいそうだし、切磋琢磨する点においても程よい人数が必要であるとの声。また、5年、15年先、まだまだ減少する生徒数でやって行けるのか、非常に心配であるとの声。そうした事への教育委員会としての考えは。

問 牛窓地区においては、少子化により児童、生徒数が激減している。学習効果を維持、向上させるための適正な学校規模と学級規模を実現化するためには、小中一貫校形態を考えるべきだと思う。



小中一貫型義務教育学校を設立した山南学園

った児童数も、令和6年度には164人と半減し、令和5年度生まれの子が小学校1年生になったときには123人になってしまふことから、小学校の統廃合は考えていく必要があると思う。多額の建設費を節減できる分離型の小学校と中学校をつくった市の例もある。地域からそうした声が上がったときには、しっかり対応していきたい。



厚東 晃央

問 邑久自然教育の森キャンプ場の充実を

答 今後の施設のあり方を研究して方針を決定



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 もっと利便性や安全性を上げる必要がある。キャンプ場までの道路の幅が狭いので、拡張が必要ではないか。

教育次長

管理棟は、雨漏りも見られるので、長期間利用していくのは困難である。トイレは、当初整備された状況から修繕対応しながら利用している。今後施設のあり方を研究し、改修の方針を決定する。

教育次長

問 邑久自然教育の森キャンプ場は、平成4年度に整備された。コロナ以降、利用者は、年間3千から4千人である。きれいに整備され、自然空間が味わえる場所となっている。しかし、管理棟は老朽化し、トイレもバリアフリー化がされていない。改修など整備が必要ではないか。



老朽化した管理棟（邑久自然教育の森キャンプ場）

教育委員会としては教育的な意義もあり、社会教育施設としても意義があるので継続管理していく。

教育次長

問 邑久自然教育の森キャンプ場は、公共施設再編計画の中で統廃合の施設だが、再編ではなく残していく施設の方針になったのか。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

嵐原 舞

問 猫の寄付金で新しい捕獲器の購入を

答 使いやすい捕獲器の情報収集に努める



動物遺棄対策のための防犯カメラの設置は考え

環境部長

問 特に猫の不法投棄が多い場所に、防犯カメラを設置しては。



猫が金具で怪我をしてより猫まう場合があるので、一層安全性の高い捕獲器への変更が望まれる

ボランティア団体と情報交換しながら、寄付金の中で、ニーズに合った捕獲器に更新するよう情報収集をしていく。

市長

問 人と猫が幸せに暮らせるまちづくりを掲げて6年目を迎えた。全国から寄せられた寄付金を、野良猫の不妊去勢手術の補助だけでなく、人と猫が安全に使える捕獲器の購入費用に充てては。

積極的にカメラを設置し、監視を続ける。

産業建設部長

問 熊の目撃情報の際は、カメラの設置で事実確認をすべきでは。

令和8年に稼働予定。

産業建設部長

問 鳥獣捕獲後の処理として、クリーンセンターにもめい導入予定の冷凍庫の進捗は。

実施隊を増員して捕獲強化をし、農作物被害だけでなく、生活域の被害にも積極的に対応していくため。

産業建設部長

問 鳥獣被害対策について、令和7年3月16日からの新しい実施隊編成の目的は。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

石原 芳高

問 教育行政の課題は見たか

答 将来を考えた個別事象への対応が必要



地域ビジネス支援セン

総務部長

問 来年度の予算編成の時期になるが、何に重点を置くのか。また、持続可能な社会に向けて、将来を見据えた行政運営の考えは。

個別事象への取り組みはできているが、対症療法的である。俯瞰的に瀬戸内市の教育の今と将来を見据えた上で、個別事象に対応し、取り組む必要性を感じている。

不登校と長期欠席者の増加、小規模学校の特色づくりや、一人1台端末への対応、教員の働き方改革と部活動の地域移行、ハード面では、老朽化した施設の在り方などが、喫緊の課題と認識している。

教育長

問 就任から8か月余りではあるが、教育行政の課題は見えたか。



20周年記念式典での高校生たちによるトークセッション

社会資本の整備に充てる交付金等の獲得が重要である。

また、都市計画の導入は財政面から見ても、充当できる予算の枠が広がる可能性があると考えている。

市長

ターの整備や、市営住宅の建て替え、中央公民館の改修などの大規模事業に重点を置いた予算編成になる。



秦井 誠司

問 救急車の適正利用推進の考えを問う

答 専門家との電話相談窓口の導入を検討中



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

救急適正利用を踏まえ、本市では救急安心センター事業を検討している。これは、救急車を呼ぶか判断に迷うときの専門家との電話相談窓口のことであり、本市において令和7年度中の開始に向けて前向きに検討している。

消防長

問 総務省消防庁では、救急車の利用において、緊急性の高い症状の方のために適時・適切な利用を求めているが、本市においてはどのように考えているのか。

救急件数は全国的に増加傾向であり、本市でも令和5年には2千223件、本年は11月までの救急件数は2千71件であり、現時点では過去最高件数を推移している。

消防長

問 救急車の出動件数が増加傾向と聞くと動向は。



救急車は地域の限られた救急資源

市として従来のPTA活動にとらわれず、新たな活動方法も視野に入れながら支援していきたい。

教育次長

問 全国的にも多くの問題が指摘されている学校・園とPTAの関係性について、目指す方向性をどのように考えているのか。

課題として、保護者の働き方や家族の在り方が多様化し、参加時間等が減少していること、PTA役員に多くの負担がかかっていることなどが挙げられる。



日下 俊子

問 ごみ行政全般の見直しを

答 今後検討したい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

④資源ごみ回収推進団体数も、報奨金も減している。報奨単価を7円から開始時の10円に戻しては。⑤本市のごみ袋は、大・小・特小である。岡山市は30ℓの中がある。ごみの減量を考えるのであれば、

③プラスチック回収の見直しだけでなく、全体的な見直しが必要では。

②プラスチック回収を拡大するのであれば、収集日を増やす必要があるのでは。

問 平成21年度からごみ減量率30%に取り組んでいるが、現在一人当たりのごみ減量率は15・6%で頭打ちの状態である。ごみ行政は、全般的に課題満載に思える。一度立ち止まって見直すべきでは。



家の中で溢れかえっているその他・プラごみ

全ての項目について、今後検討したい。

環境部長

⑧ごみ減量には、市民の正しい理解が必須である。もっと周知が必要では。

⑥生ごみ処理の導入がごみ減量の早道では。⑦岡山市には、ごみ袋の減免制度があり、様々な方に交付されている。本市も検討しては。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

小野田 光

問 中心部と周辺部の格差対策は

答 地域との連携とにぎわいの拠点創出



問 市内で空き巣など侵入盗が発生している。犯罪抑止の為に防犯カメラの設置を進めるべきだ。

地域活性化のための拠点施設は必要と考える。地域の要望も聞きながら自身の任期もあるが少しでも前進するよう努める。

市長

問 裳掛コミュニティセンターは老朽化が著しいが、避難施設としてだけでなく、子どもからお年寄り、外国人等いろいろな人が集える場、にぎわいの場、情報発信の拠点としてはどうか。

私も実感しており、均衡ある発展が重要と思う。いろんな地域組織との連携が必要と考えている。

市長

問 合併後20年経つが、中心部と周辺部の格差は広がる一方である。対策は。



みんなが集うにぎわいの場

予想より売り上げ増も見込まれ、この流れを加速したい。

市長

問 道の駅は事業計画通りか。

県と連携し事業化するようにしっかりと協議する。

市長

問 民間企業の誘致も決まったが、この期に市道南北線とブルーラインを接続すべきだ。

要綱と防犯カメラの予算の見直しを早急に図りたい。

市長



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

島津 幸枝

問 コミュニティにクールスポットの開設を

答 サポートできるよう関係団体と検討



問 学校給食費の無償化を求める。

②クールスポットの開設は、子どもたちが安全に楽しく過ごすための重要な提案で、地域コミュニティの活性化にもつながる。場所や人材といった課題を解決しながら、サポートできるよう検討したい。

総合政策部長

①学校体育館へのエアコンの設置は費用面で難しい。今年度中学校に熱中症対策用に設置したスポットクーラーを来年度は小学校にも設置を拡大したい。

教育次長

問 子どもが安全安心に過ごせる場づくりを。①学校体育館にエアコンの設置を。②夏休み中、コミュニティセンター等にクールスポット（涼みどころ）の開設を。



コミュニティセンターを利用した夏休み企画（豊原コミュニティセンター）

岡山大学病院の聴覚支援センターから、協力依頼があり市民講座の際に試験的に希望者に聴覚検査を実施している。次回は、2月20日に実施を予定。

福祉部長

問 高齢者の聴覚検査の実施を。

今年の10月以降は、給食費を市が半額負担し保護者の負担を軽減してきた。来年度も、財源の確保次第にはなるが、負担軽減策を継続したい。

教育次長



成本 崇

問 地域ビジネス支援センターの事業計画は

答 産業支援等や若者の回帰就労支援を行う



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

岩田 恵一

問 給食費半額助成は継続するのか

答 保護者負担軽減策の継続を検討する



岡山県の産業振興財団の支援メニューを活用した従業員研修等、市としてソフト事業の展開を検討している。

市長

問 現在事業を行っている事業者への支援策は。

次の代を担う学生や地域の人が集う場所を融合させることで、日常的に地域産業と関わりを持つ機会と場所を提供することを目的としている。

産業建設部長

問 市役所本庁舎西側で計画している地域ビジネス支援センターにおいて、瀬戸内市商工会やジョブスポットせとうち、ゆめワークせとうちが事務所を構えることが決まっている。この施設を拠点として、市が行うソフト事業（サービス等の業務）の考えは。



地域ビジネス支援センターの完成予想図

この施設を活用したインターンの支援や起業のスタートアップ支援等、幅広い可能性が考えられる。あらゆる方々に仕事という機会を通じて可能性を育んでいただけるような場所になるよう取り組んでいく。

市長

問 県外に進学した若者のUターン就職の支援として、地元企業のインターン受け入れ推進等を行っている。

視察報告

総務文教常任委員会視察報告

令和6年11月28日

視察先：岡山市

目的：山南学園について

岡山市立山南学園は、たった4年で地元主導の地元説明会を経て設立協議会を立ち上げ、4小学校・1中学校を義務教育学校山南学園として再編している。

牛窓町も、3小学校・1中学校で児童数減少に悩んでいる。10年先を見据え山南学園のような思い切った再編が本市にも必要かもしれない。地元主導で大きな反対もなくスムーズに再編できている点が、参考にしたところがある。



岡山市視察風景

視察先：総社市

目的：総社市版ライドシェアについて

総社市版ライドシェアは、本市のタクシー空白地帯（夜の長船駅）を埋める手段として考えていたものとは少し違っていた。かえって、乗り合い型デマンド交通のドア・トゥ・ドアの「雪舟くん」が、本市が求める利便性が高く使い勝手の良いデマンドタクシーの形と思われる。

ぜひ、もう少し詳しく研究してみたい。



受付センターの視察



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

川勝 浩子

問 DVや児童虐待の相談への対応は

答 関係機関と連携し具体的な支援を行う



以前の調査で該当する

こども・健康部長

問 ヤングケアラーの現在の状況と今後の予定は。

通報は10月末で15件。関係機関と対応を協議し、個別の支援計画により具体的な支援を行っている。

こども・健康部長

問 児童虐待に関する通報や相談の対応は。

内閣府のDVチラシ



今年度は現在10件。関係部署と緊密に連携しながら、当事者に寄り添った対応を行っている。

三浦副市長

問 DVの相談件数と対応は。

航空写真は市全域を撮影し活用している。災害発生時には、空撮データとドローンを活用し、災害対応を行う。

総務部参与

問 災害時のドローンの使用には、平時に空撮をしておくことが有効ではないか。

明確にすることは有効ではあるが、まずは、ご家族自身で適切に避難できるような避難場所や避難方法など、検討に関する支援や情報提供をしている。

総務部参与

問 災害時の身体障がい児の避難場所を明確にしてはどうか。

と判断した児童・生徒への支援は終了した。共有会議を年3回開催して早期発見に努める。





地域のかがやき

地域の写真を市民のみなさんから募集します
(下記メールアドレスにお送りください)



みんなで食べるとおいしいね
(長船町土師交流サロン子ども食堂)



海苔品評会で農林水産大臣賞を受賞された柴田久志ご夫妻
(牛窓町鹿忍子父雁)



どのいちごにしようかな
(道の駅黒井山グリーンパーク)



落ち葉のプールで大はしゃぎ
(邑久スポーツ公園冒険の森こどもひろば)



市指定 牛窓燈籠堂跡

『燈籠堂』は、そんな牛窓港に出入りする船の目印、いわゆる灯台として、前島との距離が一番近くなる海峡に面して建てられました。その歴史は古く、少なくとも寛文一〇(一六七〇)年より以前には存在していたと考えられています。今日見ることができるとは驚かれています。昭和六十三(一九八八)年に絵図などを参考にして復元されたものですが、石垣は当時の姿を残しています。かつて鯨油で灯していた明かりも電球へと世代交代し、港の夜を変わらず照らし続けています。



知ってますか?
文化財

牛窓燈籠堂跡

江戸時代、岡山藩が最も重要視した港の一つが牛窓港です。ここは荷物の積み下ろしの他、藩主や役人が他国からの客人を接待する「海の玄関」の役割も担っていました。

次回定例会の予定 (インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

2月19日(水)	本会議	9:30～
26日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
27日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
28日(金)	本会議	9:30～ 一般質問
3月3日(月)	本会議	9:30～
24日(月)	本会議	9:30～

※本会議場で行う予算常任委員会も中継しています。(生中継のみ)
2月21日(金)10:30～
3月21日(金)9:30～

会議の様子を、生中継および録画放映でご覧になれます。



この市議会だよりは再生紙を使用しています

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆さまいかがお過ごしでしょうか。
昨年は市制20周年を迎え、節目の年となりました。
今年は、新しい挑戦や変化を前に向きに受け入れる巳年です。
私たち議会は今年もより良い市となるように、議会で活発な議論を行い、市民の皆さまに「議会だより」を通してお伝えしていきます。
本年も、市議会へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。
(木下 公文)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp/site/setouchishigikai/>